

政務活動費成果報告書

令和5年7月18日

犬山市議会

議長 柴田 浩行 様

議員名 光 清 毅

下記のとおり、政務活動費により行政視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和5年7月3日(月)・4日(火) (1泊2日)
(2) 場 所	・千葉県習志野市消防庁舎及び参議院議員会館
(3) 形 態	会派(創犬会)
(4) 内 容	<p>○習志野市消防庁舎見学・質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年3月に竣工した消防本部庁舎を見学1F 中央消防署 緊急車両車庫、出動準備室、救急消毒室、免震装置 等2F 職員生活エリア 個室型仮眠室、食堂・調理場、シャワー室 等3F 消防本部 屋内訓練室、会議室、可動式書庫、執務室 等 <p>・質疑応答 別添資料のとおり</p> <p>○スポーツを通じた健康増進についてのヒアリング (スポーツ庁健康スポーツ課職員による説明を受ける)</p> <ul style="list-style-type: none">・運動・スポーツ習慣化促進事業 <p>地域の実情に応じて地方公共団体が行う、多くの住民が安心して、安全かつ効果的な健康づくりのための楽しい運動・スポーツを習慣的に実施するためのスポーツを通じた健康増進に資する取組を支援する。市町村等に対する補助事業(定額)</p> <p>(平成27年度より実施している)</p> <p>【必須事項】体制整備の取組、習慣化させるための取組</p> <p>【選択事項】追加実施事項</p>



(5) 成果・提言

○習志野市新消防庁舎について

- ・新消防庁舎では、通路・階段の安全対策やセキュリティ対策の他、各室、ガレージ、倉庫等において詳細な配慮がされており、当市の新消防庁舎建設にあたっては参考になりたい。
- ・基本構想・基本設計の策定には、専門的な知識が求められるため、市長部局との連携をより深めて取り組んでもらいたい。
- ・市の財政負担を抑えるため、適正な敷地・庁舎規模を十分に工夫するとともに、発注にあたっては、デザインビルト方式を始めとする可能な手法を検討・比較を求めていく。

○スポーツを通じた健康増進について

- ・具体的な運動・スポーツ習慣化促進事業については、現在、犬山市で実施している事業と同様なものもあるので、それらの事業を再検証して、さらに市民の健康増進に役立つように進める必要がある。
- ・国による財政的支援は、魅力的であるが、補助金終了後の事業展開を視野に入れて検討しなくてはならない。
- ・まずは、市としてのこの事業に対する担当部局を決定してもらい、導入に向けて取り組んでもらうよう促したい。あわせて、Sport in Lifeコンソーシアムへ加入し、情報収集を進めてもらいたい。

42X~基本構想
3.5ha

習志野市新消防庁舎建設工事

※ 実施設計及び新築、既存庁舎解体、外構整備を含む。

○基本方針: 検討委員会やプロジェクトチームについて

【質問1】

消防庁舎建設計画にあたり、消防職員や外部アドバイザー等によるプロジェクトチームを設置したのでしょうか。その場合、実施するにあたり検討チームの心得や工夫すべき点があれば教えてください。

【回答1】

新消防庁舎につきましては、平成25年3月に策定した「習志野市新庁舎等建設基本構想及び同基本計画」において、市庁舎との災害対策の連携を図る観点から一体的に整備を進めることとしました。

市庁舎敷地(約 3.5ha)における大規模な整備事業であるため、平成25年度に市長直属の組織となる、「新庁舎等建設本部(市長部局の職員のみで構成)」を設置し、事業の実施の主を担いました。その際、PFI、PPP 等の官民連携事業について専門知識が必要となることから、任期付職員を採用し配置しました。

基本構想及び基本設計(平成26年3月策定)の際に、外部コンサルタント会社に委託し、検討を進めました。

※ 基本構想及び、基本計画、基本設計は消防庁舎だけでなく、市庁舎等の他の施設や外構計画も含め検討されました。

※ 消防庁舎単独の整備であれば、消防総務課が主担当となり、営繕部署と連携しながら、同様の業務発注を実施していたと想定されます。

○プロポーザルの導入について

【質問2】

プロポーザルを活用して、効率的・効果的な計画を実施したと思いますが、プロポーザルの導入をせず、基本計画を自前で策定することは現実的に可能と思われるでしょうか。

【回答2】

基本構想の事業者は、プロポーザル方式で選定し、基本計画は市が自前で策定しました。

基本構想は計画の大元になるもので、事業手法の検討や建設候補地、計画建物の規模・配置等の様々な条件等を整理する必要があります。各種法令等と照合するなど、専門的な知識が求められます。また、第三者の視点から検討を深めるためにも、民間独自のノウハウをもった事業者に委託することが望ましいと考えます。

事業者への委託または自前で策定する場合においても、市長部局の営繕部署等の協力は必要であると考えます。

○財源確保について

【質問3】

多額の費用による市の財政負担となりますが、PFI・民間活用など、負担軽減策があれば教えてください。

【回答3】

消防庁舎は消防行政に特化した施設であることから、民間事業者が事業に参加し収益を得るための構想、計画となっておらず、収益施設の併設も難しいことなどから、民間のノウハウを活用する場面は少なく、PFI手法を選択することによる財政効果を見込むことが難しいと考えます。

本事業発注は、工期短縮やコスト削減が期待できる設計・施工を一括発注するデザインビルド方式としています。入札方式を一般競争総合評価落札方式とし、事業者選定の過程で、事業者に対し、VE提案(性能、機能を維持または向上させつつ、コストダウンを図る提案)を求め、市が認めたものにつきましては、設計や仕様に織り込み、契約に反映させました。

また、本市の消防庁舎建替えの財源は、公共施設等再生整備基金繰入金と一般財源、地方債です。

○他機関との併設や部分共用について

【質問4】

福祉施設等公共施設の併設や部分共用の議論がもしされたのであれば教えてください。

【回答4】

市庁舎は市民協働を基本方針としていることから、市民利用スペースを考慮した計画としておりますが、消防庁舎と他の機能との複合化は消防機能の特性上、特に検討はしていません。

回答1のとおり、市庁舎との災害対策の連携を図る観点から一体的に整備を進めることとしました。市庁舎と同一敷地であることから、一般来庁者の駐車場は共有しています。

また、消防車両の出入りにつきまして、建物の南北2面にオーバースライダーシャッターを設けることで、緊急車両が前面道路からまっすぐ出動することができ、業務で使用する普通車両は建物北側から敷地内通路を通り出入りすることが可能な計画としております。

○敷地規模及び庁舎規模の考え方について

【質問5】

大規模災害への備え、バリアフリーやプラバシー空間、訓練施設の確保など機能の充実を考えると、敷地規模及び庁舎規模が現庁舎より拡大してしまうと考えています。適正規模の根拠など考え方があれば教えてください。

【回答5】

旧消防庁舎では、資材の保管場所の確保に苦慮していたことや大部屋の仮眠室でプライバシーの配慮がされていない点など、面積増に直結する様々な課題がありました。しかし、平面計画や出動動線等を工夫することにより、旧消防庁舎の面積と同等程度とすることができました。

なお、訓練棟施設については、従前の施設には無い新たな機能として計画したことから、面積増となっています。

消防本部が管理する敷地面積(消防活動空地を含む。)は、訓練棟及び自家給油設備の設置により、従前より増えています。しかし、市庁舎と駐車場を共有し、その駐車場を閉庁時には市内消防団の訓練で使用するなど、敷地の有効活用を図っています。

○災害機能について

【質問6】

市民の安心安全確保のため、災害に強い庁舎を目指したいと思っています。貴市では大規模災害時の救護避難所機能や自家給油設備、飲料水兼防火水槽などは導入されましたでしょうか。

【回答6】

- ・免震建物とすることで、大地震時の安全性を確保しています。
- ・3日分の水量を確保できる上水受水槽、7日分の非常用排水槽
- ・3日分の電力確保が可能な非常用発電機
- ・異なる変電所から電力を2回線引き込み
- ・消防車両、市管理公用車用の自家給油設備

○プライバシーやセキュリティの確保について

○女性職員のプライバシー空間について

【質問7】

プライバシーの配慮、また情報セキュリティを徹底できるシステムの導入があれば教えてください。

仮眠室、更衣室、トイレ、洗面所、ごみ集積所など女性職員に配慮したところがあれば教えてください。

【回答7】

各階で一般エリアと職員利用エリアを分け、2階では仮眠室エリアの男女の区画を明確にし、セキュリティライン上の建具にはテンキー錠にて管理できる計画としています。

○市民意見反映について

【質問8】

市民や事業者の皆さんからの意見はどのように取り入れて反映させましたでしょうか。

【回答8】

基本構想(案)及び基本設計(案)の段階で、市庁舎整備とあわせパブリックコメントを実施しましたが、消防庁舎に関する市民意見は、直接市民利用する施設ではないからと思われませんが、ごくわずかでした。